

第5学年 組 家庭科学習指導案

1. 題材名 めって！使って！楽しい生活

2. 指導観

○ 児童観

本学級の子どもたちは、5年生で新しく始まった家庭科の学習をととても楽しみにしており意欲的に取り組んでいる。1学期「さいほう用具を使おう」の学習では、裁縫用具の使い方を知り、玉結び、玉どめ、ボタンつけなどの技能を習得し、手縫いで簡単な小物を製作する活動を通して製作の喜びを味わい、「さらにいろいろなものをつくってみたい」という意欲をもつことができた。

しかし家庭での生活経験には大きな差があり、布を使った製作でも1学期の学習で初めて針と糸を使ったという子どもも多かった。またアンケートによると、家にミシンがないと答えた子どもが29%とミシン縫いについては興味を持っているが、実際にミシンの動く場面を見たことのない子どもが多く、ミシンと手縫いの違い、ミシン縫いのよさについて知っている子どもは少ない。

物作りの楽しさを味わい始めてきた子どもたちが、意欲を持続しながら安全で正しいミシン縫いの技能を習得することで、一人ひとりの思いや願いのこもった製作ができるようにする。また、製作の活動を通して家庭生活へ興味をもち、よりよくしていこうとする実践的な態度をもった子どもたちに育てていきたい。

○ 題材観

本題材では、布や布製品の特性を知り、ミシン縫いの技能を習得し、家庭生活をよりよくしていこうと制作していかうという実践的な態度を育てることがねらいである。具体的には、

①布の特性を知ること

②布端の始末の仕方がわかること

③自分の家庭生活に役立つ布製品の材料、製作手順、製作方法を理解すること

などが主な学習内容である。これらの学習を通して、子どもたちは手縫いとミシン縫いを活用した布製品の製作についての基礎・基本を身につけるとともに子どもたちが自分で学び方を決め、生活をよりよくしていこうとする素地を養うことができると考える。

○ 指導観

子どもたちは1学期「さいほう用具を使おう」において、フェルトを使用し手縫いで簡単な小物づくりを行った。ここではさらに布を使った物の製作に取り組んでいくために、まず身近な布製品に目を向けさせ、布の特徴や適性を調べさせる。そこで布により厚さ、布端、伸縮性などに違いがあることに気づかせ、家庭生活ではたくさんの布がその用途に応じて使われていることを考えさせる。そして、自分の作りたい物とその手順を考えさせ、自分なりの工夫をさせたい。さらに手縫いより効率のよいミシン縫いの方法があることを知らせ、製作への意欲をもたせたい。また、ミシンの扱いについては初めての学習となるので、安全に十分留意しながら、一人ひとりの技能に応じて丁寧に指導にあたりたい。

3. 題材の目標

- (1) 布を用いて生活に役立つ物を製作することに関心を持ち、布の特徴について調べたり、製作したりしようとする。 (関心・意欲・態度)
- (2) 自分の生活に役立つ布製品のデザインや縫い方を工夫して作ることができる。 (創意工夫)
- (3) 生活に役立つ布製品の製作計画を立て、裁縫用具やミシンを安全に使って作ることができる。 (技能)
- (4) 裁縫用具やミシンの安全な取り扱い方、及び製作に必要な材料や手順、方法を理解することができる。 (知識・理解)

4. 指導計画 (全14時間)

段階	配時	学習活動	主な支援	評価規準
	課外	自分の裁縫経験について想起し、自分の家の布製品を持ち寄る。		
	1 本時	<p>1. 自分の身の回りの布製品を調べる。</p> <p>(1) 家庭で見つけた布製品のはたらきについて話し合う。</p> <p>○ 布製品のはたらき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなものが ・何のために <p>(2) どのようにできているのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布の種類 ・布の性質 (厚さ・手触り・伸縮性・布の端の様子) ・縫い方 	<p>*いろいろな布製品や布を用意しておき、観察させたり、触らせたりする。また、観察して気づいたことを言葉で表現させる。</p> <p>*その後の自分の課題設定につながる布製品を提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家庭生活を見つめて、布の役割に関心をもつことができる。(関心) ・身近な布や布製品の特徴について意欲的に調べている。(意欲) ・布にはそれぞれ特徴があり、その特徴を生かして使用されていることを理解している。(知識・理解)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>学習テーマ</p> <p>自分で布地を選び、ミシンを使って生活に役立つ物を作ろう。</p> </div>				
	2	<p>2. 前時学習したことや、家庭での調べ活動をもとに、自分の課題を決める。</p> <p>個人課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品のデザインとサイズを考える。 ・自分に必要な工夫をする。 	<p>*各作品の製作過程の見本を提示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家庭に必要な布製品を調べることができる。(意欲) ・家庭での調べ活動をもとに、作るものを決め、作り方や手順を調

		<ul style="list-style-type: none"> ・用途に合った材料を選ぶ。 ・製作計画を立て、手順を確かめる。 		<p>べて製作計画を立てることができる。 (意欲・創意工夫)</p>
10	<p>3. ミシンの使い方を学習し、製作計画にそって製作をする。</p> <p>① (1) ミシン縫いのよさを観察して確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手縫いとの比較 ・縫い目 ・丈夫さ ・上糸と下糸 ・縫う速さ <p>④ (2) ミシンの安全な使い方、直線縫いの仕方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出し方としまい方 ・ミシン針のつけ方 ・下糸の巻き方 ・上糸のかけ方 ・縫い始めと縫い終わりの方法 <p>⑤ (3) 製作計画にそって製作をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品にふさわしい布を選ぶ。 ・作品のサイズを考える。 ・部位にあった縫い方をする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 手縫いとミシン縫いを実演で縫って見せ、同じ時間内にどのくらい縫えるのか、縫った長さを比較させる。 * 手縫いとミシン縫いの布をそれぞれ引っ張って見せ、強度の違いを比較させる。 * ミシン縫いの技能習得については評価カードをもとに追求できるようにする。 * 作品別に製作グループを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いのよさを理解することができる。(知識・理解) ・針の正しいつけ方を理解している。(知識・技能) ・下糸の巻き方を理解し、正しく巻くことができる。(知識・技能) ・上糸のかけ方がわかり、正しい順序でかけることができる(知識・技能) ・工夫して製作することができる(創意工夫・技能) 	
1	<p>4. 実践発表会をする。</p> <p>(1) 家庭で使う。(課外)</p> <p>(2) 発表会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 作品と実際に使ってみた感想などをお便りで紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の商品のよさに気づくことができる。(関心・意欲・態度) 	

5. 本時 (1 / 14) 平成22年10月 日(月) 校時 家庭科室にて

6. 本時目標

- 身の回りの布製品を調べて、布でできているものに興味・関心をもつことができる。
- 布製品のはたらきや布の特性を理解することができる。

7. 本時指導の考え方

子どもたちには事前に布製品の学習をすることを伝えておき、家庭にある布製品を持参させる。これにより、まず布の特徴を見つけるための意欲づけをはかり、本時の学習のめあてをつかませる。

次に、身近な布製品や布切れを手にとって観察し、たくさんの製品が身の回りであることに気づかせ、布製品のはたらきについてわかったことを班で交流させる。また、布の性質については一人ひとりに4

種類の布を配り、布の厚さや伸縮性、布端の様子に着目して観察させ交流し、布の製品にはいろいろなものがあり、用途によって布が使い分けられていることを確認させる。

さらに、本題材のテーマを「布地を選び、ミシンを使って、生活に役立つものを作ろう」とし、本題材では自分や家族の生活に役立つものを作ることを確認させる。最後に、自己評価をして学習を振り返らせ、わが家で役に立つ布製品はどのようなものがあるかについて調べてくること、次時は製作計画を立てることを伝える。

8. 準備

教師：4種類の布、提示用の布製品、学習プリント

児童：身近な布製品

9. 本時展開

時間	学習活動・内容	教師の支援	評価規準
5分	<p>1. 生活の中で使われている布製品を見つめ、本時のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 身の回りで見つけた布製品を出し合う。</p> <p>○布製品の多様性への気づき</p> <p>(2) 本時の学習のめあてをつかむ。</p>	<p>* 家庭の中の布製持参させておくことで、身の回りには様々な布製品があることに気づき、特徴見つけへの意欲をもつことができるようにする。</p>	<p>・身の回りで見つけた布製品について、気づいたことを意欲的に発表する。</p> <p>(関心・意欲・態度)《発言》</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 布製品のはたらきや布の特ちょうを見つけよう。 </div>			
15分	<p>2. 身近な布製品や布切れを手にとって観察し、調べたことを交流する。</p> <p>(1) 布製品とそれはたらきを考える。</p> <p>○ 布製品にはそれぞれにはたらきがあり、生活のさまざまな場所で使われていること</p> <p><布製品のはたらき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚れを防ぐ ・ 水や汚れをふきとる ・ 日差しを防ぐ ・ 生活を楽しむ ・ ものを入れる 	<p>* 各自が持ち寄った布製品のはたらきを考え、使用目的別に班で分ける活動を取り入れる。</p> <p>* 布製品は身近なところでそれぞれの目的に応じた使われ方をしていることをおさえる。</p>	
15分	<p>(2) 布の性質を観察し、交流する。</p> <p>○ 布の種類と性質を知ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フェルト→ほつれない。伸びない ・ 編物→縦横によく伸びる ・ 織物→あまり伸びないが、斜めには 	<p>* 一人ひとりに4種類の布を配布し、じっくり観察できるようにする。また、観察する視点を与えて、布の性質を</p>	

5分	<p>よく伸びる。 ・キルティング→布と布の間に綿をはさんで縫い合わせている。厚い。</p> <p>3 本題材のめあてを確かめる。</p>	<p>調べさせる。 ＜調べる視点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ ・ のび（縦，横，斜め） ・ 布はしの様子（ほつれやすさ） <p>* 本題材では，自分や家族の生活に役立つ物を作ることを確認する。</p>	<p>・布製品のはたらきと布の性質がわかる。 （知識・理解） 《発言・学習プリント》</p>
<p>自分で布地を選び，ミシンを使って生活に役立つ物を作ろう。</p>			
5分	<p>4 本時の学習を振り返り，次時からの学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 布製品や布の特徴を知ることができたことと，製作に意欲をもてたことを自分で振り返る。 <p>(2) 次時の学習を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の学習への見通しをもつこと ・ わが家で役立つ物を調べる ・ 次時は製作計画を立てる 	<p>* 学習プリントにて本時の学習を自己評価させ，今後の学習への意欲，自分の課題などを記述させる。</p> <p>* 自分や家庭で役立つものを調べてくることを確認する。</p>	

10. 板書計画

ぬって！使って！楽しい生活

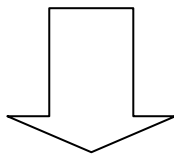
めあて 布製品のはたらきや布の特ちょうを見つけよう。

<布製品のはたらき>

日差しを防ぐ	汚れをふく	物を入れる	生活を楽しくする
・カーテン	・台ふき ・マット ・ぞうきん	・ウォールポケット ・ペーパーホルダー ・ブックバック ・きんちやく	・ランチョンマット ・ティッシュカバー ・クッションカバー ・テーブルクロス
汚れを防ぐ	水をすいとる	物を包む	着る
・エプロン ・ナフキン	・台ふき ・タオル ・ハンカチ	・ふろしき	・Tシャツ

<布の特ちょう>

編物	織物	キルティング	フェルト
・たて横にのびちぢみする。	・たて横はのびにくい、ななめにはのびる。	・綿がはさんである。 ・厚みがある。	・布はしがほどけない。 ・引っぱるとのびて、元にもどりにくい。



学習テーマ

自分で布地を選び、ミシンを使って生活に役立つ物を作ろう。

ぬって！使って！楽しい生活

No. 1

5年 組 名前()

めあて

<布製品のはたらき>

<布の特ちょう>

あみ 編 物	おり 織 物	キルティング	フェルト



学習テーマ

<今日の学習をふり返って>

- ① 身の回りの布製品に興味をもつことができた。 (◎ ○ △)
- ② 布のはたらきや特ちょうがわかった。 (◎ ○ △)
- ③ ミシンを使って生活に役立つ物を作りたいと思った。 (◎ ○ △)
